

「いきいき音楽体験事業」を下野新聞が紹介!

現在進行中の「いきいき音楽体験事業2023」オペラ「ヘンゼルとグレーテル」学校巡回公演初日の模様が、10/11の下野新聞で紹介されました。ご覧ください。

県立盲学校でオペラ上演 3年越し、ようやく実現 「歌声に感動」

10/11 11:30



【宇都宮】福岡町の県立盲学校でこのほど、県オペラ協会によるオペラ「ヘンゼルとグレーテル」が上演された。新型コロナウイルス禍で延期が重なり、3年越しの実現。鑑賞した児童生徒は歌やせりふに聞き入り、思い思いに舞台を楽しんだ。

日本教育公務員弘済会栃木支部と県連合教育会が主催するオペラの学校巡回公演「いきいき音楽体験事業」の一環。同校では当初、2020年度に上演予定だった。

この日の公演には、小学部から高等部普通科の計21人と保護者、教職員が参加。野原辰男（のはらたつお）校長が「3年間、盲学校を気に留め続け、実現してくれた関係者に感謝したい」とあいさつ。続いて児童生徒に「歌声の違いや表現力を楽しんでほしい」と呼びかけた。

舞台では出演者たちが見事な歌声を披露しながら物語を繰り広げ、児童生徒は熱心に聞き入っていた。高等部2年の山口和真（やまぐちかずま）さん（17）は「学校でオペラの舞台を鑑賞できるのはすごいこと。素晴らしい歌声に感動しました」と喜んでいた。

（下野新聞デジタル版より）

ら「藤子直信部長」として町のPRに「後買っている。今回5人目の「大使」に委嘱替えされた。ステージで広田茂十郎町長から笑顔で委嘱状を受け取った。

フリーアナウンサー登壇 澤一さんと対談したトータシヨウでは、充実していた田野中時代を経て、時に悩み、山を乗り越えて仕事に向き合った8年間の芸能生活を振り返り、「仕事があることがうれしく幸せかを言えないよなにした」となぐさ語った。

生徒から「中学時代に好きだった給食は」と聞かれ

サッカーJリーグの西谷和希、優希兄弟も大使に委嘱替えになった。



広田町長から笑顔で委嘱状を受け取る井上さん

SOON 親子版にも登場

(飯塚博)



県立盲学校で行われたオペラ公演

宇都宮の県盲学校
オペラ巡回公演
3年越しで実現
美しい歌声、子ども魅了

【宇都宮】福岡町の県立盲学校でこのほど、県オペラ協会によるオペラ「ヘン

ゼルとクレイテル」が上演された。新型コロナウイルス入禍で延期が重なり、3年越しの実現。鑑賞した児童生徒は歌やせりふに聞き入り、思い思いに舞台を羨しんだ。

日本教育公務員弘済会栃木支部と県連合教育会が主催するオペラの学校巡回公演「いきいき音楽体験事業」の二弾。同校では当初、2020年度に上演予定だった。

この日の公演には、小学部から高等部普通科の計21人と保護者、教職員が参加。野原辰男校長が「3年間、盲学校を気に留め続け、実現してくれた関係者に感謝したい」とあいさつ。続いて児童生徒に「歌声の美しいや表現力を楽しんでほしい」と呼びかけた。

舞台では出演者たちが果敢な歌声を披露しながら物語を繰り広げ、児童生徒は熱心に聞き入っていた。高等部2年の山口和真さん(17)は「学校でオペラの舞台を鑑賞できるのはすごいこと。素晴らしい歌声に感動しました」と喜んで

(増田明子)